

豊田工業高等専門学校		開講年度	平成29年度 (2017年度)	授業科目	電気英語基礎Ⅱ
科目基礎情報					
科目番号	73321		科目区分	専門 / 選択	
授業形態	講義		単位の種別と単位数	履修単位: 1	
開設学科	電気・電子システム工学科		対象学年	3	
開設期	通年		週時間数	1	
教科書/教材	「めざせ100万語! 読書記録手帳」SSS英語学習法研究会 ISBN978-4902091267、Penguin Readers Level 2 (PGR2)他、英文多読用図書 (図書館蔵書) / (リスニング教材) 「フォーリエの冒険第5章微分、英語版」ISBN978-4906519118				
担当教員	西澤 一				
目的・到達目標					
(ア)担当教員の指導下で、日本語を介さずに理解できる英文の水準を見つけることができる。 (イ)基本語400~600語水準 (YL2.2) の英文を、連続して45分以上読み続けることができる。 (ウ)基本語400~600語水準 (YL2.2) の英文を、毎分100語以上で読み、概要を把握することができる。 (エ)継続的な学習により、課外学習も含めて、延べ10万語以上の英文を読んでいる。 (オ)毎分120語程度で、断続的に読み上げられる基礎語彙からなる英文を聴き取り、4割程度を書き取ることができる。 (カ)TOEIC370点程度の英語コミュニケーション能力を有する。					
ループリック					
	理想的な到達レベルの目安	標準的な到達レベルの目安	未到達レベルの目安		
評価項目(ア)	自ら、日本語を介さずに理解できる英文の水準を見つけることができる。	担当教員の指導下で、日本語を介さずに理解できる英文の水準を見つけることができる。	担当教員の指導下で、日本語を介さずに理解できる英文の水準を見つけない。		
評価項目(ウ)	基本語400~600語水準 (YL2.2) の英文を、毎分100語以上で読み、内容を詳しく把握することができる。	基本語400~600語水準 (YL2.2) の英文を、毎分100語以上で読み、内容を把握することができる。	基本語400~600語水準 (YL2.2) の英文を、毎分100語以上で読み、概要を把握することができない。		
評価項目(エ)	継続的な学習により、課外学習も含めて、延べ30万語以上の英文を読んでいる。	継続的な学習により、課外学習も含めて、延べ18万語以上の英文を読んでいる。	課外学習も含め英文読書量が、延べ10万語に達しない。		
学科の到達目標項目との関係					
教育方法等					
概要	技術者に必要とされる基本的な英語コミュニケーション能力の習得には、継続的、体系的かつ自律的な学習が必要である。本講では、「電気英語基礎Ⅰ」で身につけた英文多読を、授業内外で継続・発展させ、自律的、継続的な学習スタイルを確立する。その結果として、外部試験 (TOEIC) でも、英語コミュニケーション能力の向上を確認できることを目指す。また、リスニング演習 (ディクテーション) を併用し、多読との相乗効果によるリスニング能力の向上も目指す。				
授業の進め方と授業内容・方法					
注意点	TOEIC330点程度の英語コミュニケーション能力を持つことを想定して授業を行う。小テスト評価はディクテーション (10%) とリディング (10%)、課題評価は読書記録 (10%)、H29年3月~30年2月の累積)、および、外部試験 (30%、H29年3月以降に受験したTOEIC IPC、公開テスト結果) により行う。				
選択必修の種別・旧カリ科目名					
授業計画					
	週	授業内容・方法	週ごとの到達目標		
前期	1stQ	1週	英語コミュニケーション・スキルを身につけるための学習法の解説	日本語を介さずに英文を理解する、多読の読み方を認識する	
		2週	英語コミュニケーション・スキルを身につけるための学習法の解説	日本語を介さずに英文を理解する、多読の読み方を認識する	
		3週	リーディング教材を用いた読解演習:	YL2.2以下のやさしい英文を読み、自らの読書状態を観察できる	
		4週	リーディング教材を用いた読解演習:	YL2.2以下のやさしい英文を読み、自らの読書状態を観察できる	
		5週	リーディング教材を用いた読解演習:	YL2.2以下のやさしい英文を読み、自らの読書状態を観察できる	
		6週	リーディング教材を用いた読解演習:	YL2.2以下のやさしい英文を読み、自らの読書状態を観察できる	
		7週	リーディング教材を用いた読解演習:	YL2.2以下のやさしい英文を読み、自らの読書状態を観察できる	
		8週	リーディング教材を用いた読解演習:	YL2.2以下のやさしい英文を読み、自らの読書状態を観察できる	
	2ndQ	9週	リーディング教材を用いた読解演習:	YL2.2以下のやさしい英文を読み、自らの読書状態を観察できる	
		10週	リスニング演習 (ディクテーション):	毎分120語程度で、断続的に読み上げられる基礎語彙からなる英文を聴き取り、4割程度を書き取ることができる	
		11週	リーディング教材を用いた読解演習:	YL2.2以下のやさしい英文を読み、自らの読書状態を観察できる	
		12週	リーディング教材を用いた読解演習:	YL2.2以下のやさしい英文を読み、自らの読書状態を観察できる	
		13週	リーディング教材を用いた読解演習:	YL2.2以下のやさしい英文を読み、自らの読書状態を観察できる	
		14週	リーディング教材を用いた読解演習:	YL2.2程度のやさしい英文を読み、その内容について日本語で説明できる	
		15週	リーディング教材を用いた読解演習:	YL2.2程度のやさしい英文を読み、その内容について日本語で説明できる	

		16週		
後期	3rdQ	1週	リーディング教材を用いた読解演習：	YL2.2以下のやさしい英文を読み、自らの読書状態を観察できる
		2週	リーディング教材を用いた読解演習：	YL2.2以下のやさしい英文を読み、自らの読書状態を観察できる
		3週	リーディング教材を用いた読解演習：	YL2.2以下のやさしい英文を読み、自らの読書状態を観察できる
		4週	リーディング教材を用いた読解演習：	YL2.2以下のやさしい英文を読み、自らの読書状態を観察できる
		5週	リスニング演習（ディクテーション）：	毎分120語程度で、断続的に読み上げられる基礎語彙からなる英文を聴き取り、4割程度を書き取ることができる
		6週	リーディング教材を用いた読解演習：	YL2.2以下のやさしい英文を読み、自らの読書状態を観察できる
		7週	リーディング教材を用いた読解演習：	YL2.2以下のやさしい英文を読み、自らの読書状態を観察できる
		8週	リーディング教材を用いた読解演習：	YL2.2以下のやさしい英文を読み、自らの読書状態を観察できる
	4thQ	9週	リーディング教材を用いた読解演習：	YL2.2以下のやさしい英文を読み、自らの読書状態を観察できる
		10週	リーディング教材を用いた読解演習：	YL2.2以下のやさしい英文を読み、自らの読書状態を観察できる
		11週	リーディング教材を用いた読解演習：	YL2.2以下のやさしい英文を読み、自らの読書状態を観察できる
		12週	リーディング教材を用いた読解演習：	YL2.2以下のやさしい英文を読み、自らの読書状態を観察できる
		13週	リスニング演習（ディクテーション）：	毎分120語程度で、断続的に読み上げられる基礎語彙からなる英文を聴き取り、4割程度を書き取ることができる
		14週	リーディング教材を用いた読解演習：	YL2.2程度のやさしい英文を読み、その内容について日本語で説明できる
		15週	リーディング教材を用いた読解演習：	YL2.2程度のやさしい英文を読み、その内容について日本語で説明できる
		16週		

モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標

分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル	授業週
評価割合					
		定期試験	課題	小テスト	合計
総合評価割合		40	40	20	100
専門的能力		40	40	20	100